

## 医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	消化器癌患者におけるアナモレリン塩酸塩の有効性、臨床経過に関する検討
所属科*	消化器内科
研究責任者*	法水 淳
研究実施期間	開始 西暦 2021年 4月 日 ~ 終了 西暦 2025年 3月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	消化器癌によるがん悪液質 (約 50 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2021年 4月 日 ~ 至 西暦 2025年 3月 日
研究概要*	<p>【背景】がん悪液質は進行がん患者の80%に認められ、体重減少と食欲不振といった典型的な症状に加えて、化学療法の効果の減弱、副作用や治療中断の増加、さらには生存率にまで影響をおよぼす。2021年4月、グレリン様作用を持つ経口薬アナモレリン塩酸塩（アナモレリン）ががん悪液質による食欲低下と体重減少を改善する治療薬として使用可能となった。アナモレリンは体重増加、食欲を改善効果が報告されているが、奏効しない症例もあり、また身体機能、生活の質、生存期間への有効性は証明されていない。</p> <p>【目的】既存の診療情報を用いて、アナモレリンの消化器癌患者における有効性、臨床経過に与える影響を検討する。</p> <p>【方法】当院で2021年4月以降、消化器癌によるがん悪液質に伴う食欲低下と体重減少に対してアナモレリン塩酸塩を投与された約50症例を対象に、既存の診療情報（血液検査、画像検査、治療内容等）、臨床経過の閲覧・評価を行い、アナモレリン塩酸塩の有効性、臨床経過に与える影響に関して検討する。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 消化器内科

別紙第2号様式

	法水 淳
--	------